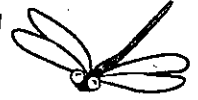


# NO FENCE



vol. **101** 2024年 1 月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
<https://www.nofence.jp/>

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひします。

今年最初の会報は、北朝鮮の新しいニュースを一つと、2020年12月に制定された「反動思想文化排撃法」について取り上げます。

## 〈北朝鮮当局の食糧対策〉崩れている配給制に代わる当局の苦肉の策

アジアプレス（石丸次郎さん）の今年最初の北朝鮮報道によれば、北朝鮮は昨年11月から12月に、昨年当初の労働者、公務員の給料を10倍にして、出勤制と政府の糧食販売所の復活を利用して、市場による食糧販売を禁止し、新しい食糧対策を打ち出しているという。

私たちが理解している北朝鮮の労働者の賃金は極めて安く、本人がそれで一か月も食っていける賃金ではなかった。政府の配給制を前提にした賃金であった。それが1990年後半の「苦難の行軍」によって食糧配給制が崩壊して以後、家庭の主婦たちが市場に出て食糧を販売、購入して何とか一家の生命を支えてきた。政府も市場を取り締まったが、政府の役人たちも食っていかなざるを得ず、事実上市場を容認せざるをえなかった。男性たちも職場を離脱し、収入源を他に求め、最近では食糧流通の中心は市場になっていた。

今回アジアプレスが北朝鮮内部の協力者を得て調査したところによれば、昨年当初企業と公務員の一か月の公定賃金は、一般労働者たちで大体1500～2500ウォン、幹部は4000～8000ウォンであった（北朝鮮1000ウォンは韓国の約153ウォン）。昨年末に次のように改定された。

公務員 3万5千～5万ウォン

教員 3万8千～5万ウォン

国営企業の一般労働者 3万5千ウォン程度

昨年1月政府は市場での食糧販売を原則禁止し、食糧販売を政府の糧食販売所で単一化せんとしている。しかし、内部協力者の意見では、給料から軍隊支援の額も天引き化されているから、実質的には改善にならないとしている。

# 反動思想文化排撃法の全文を見て思うこと

韓流ブームが北朝鮮のミレニウム世代(20代30代)の胸に風穴を開け、北朝鮮は確実に変わってきているという太泳浩氏の指摘を受け、心強く思ったが、それに対する北朝鮮当局の対抗措置である「反動思想文化排撃法」(2020年12月制定)を具体的に知りたくなった。ネットで調べてみたら、幸い全文(朝鮮文)とその翻訳が出てきた。翻訳(日文)はデイリーNK ジャパンの高英起さんたちが2023年3月24日にネットで発表していた。高さんの説明では普通入手困難な北朝鮮法をある国際的なイベントで北から参加した人から入手したという。幸運にも全文を見ることが出来た。2020年12月以降何回か部分修正されているが、全41章からなる。最初に立法の趣旨とキーワードの説明があるが、反動的、反社会主義的思想文化の北朝鮮内への流入を徹底的に阻止するという内容の繰り返しで、内容的に鑑賞に値する者はなかった。特徴点は3~4点指摘し、該当条文を貼り付け、紹介に変えよう。

〈特徴点〉1) 特に韓国の文化の流入を全面的に阻止することが強調されている。

第27条(傀儡思想文化伝播罪)「傀儡の映画や録画物、編集物、図書、歌、絵、写真などを見たり聞いたり、保管した者、または傀儡の歌、絵、写真、図案などを流入、流布した者は、5年以上10年以下の労働強化刑に処す。」韓国は傀儡と表記されている。

2) キーワードになる「反動的な思想文化」や「反社会主義思想文化」の定義が抽象的である。以下のように。

「反動的な思想文化とは、人民大衆の革命的思想意識、階級意識を麻痺させ、社会を変質・墮落させる傀儡出版物をはじめとする敵対勢力の腐敗した思想文化と、われわれのものではないあらゆる不健全で異色の思想文化である。」(第2条定義)

3) 同一民族である韓国人たちの話し方、文章の書き方、歌の歌い方などを知ったり、影響を受けることを処罰の対象にすると、南北の統一、祖国の統一を考える上で、不自然である。(第32条「傀儡文化露現罪」)

4) 総じて世界の外国の優れた思想文化から学ぼうとする姿勢が一切見られないのは北朝鮮の人々を、精神的に貧しい者にする。パソコンや電子機器が発達した時代である。国境を越えて交流することを阻むとは、時代錯誤も甚だしい。

本誌73号(2021年7月号)で北朝鮮の行政処罰法を紹介した(2004年登場)。

個人がパソコンやタイプライターを使って文章を書き、当局に届けなく印刷物をつくることを禁止していることを知って(第207~209条)ショックを受けたが、今回のこの法律で外国から優れた思想文化を学ぶことまで阻止するとは、北朝鮮当局は、表現の自由や、知る権利という基本的人権をまで無視する、ひどい人権抑圧国であることを実証している。北朝鮮憲法では表現の自由や知る権利は保証していたと思う。太泳浩さんによれば、憲法は北朝鮮では3番目に位置(事実は無視)されている。太泳浩さんに伺ったら、北朝鮮では世界人権宣言は教えられていないという。マルクスは高度に発達した資本主義国から次の体制に移行すると言った。北朝鮮当局は自らを社会主義国と自認しているが、人権を重んじない社会主義は社会主義の名に値しない。行政処罰法や反動的な思想文化排撃法で、北朝鮮には自由がほとんどないことが立証された。韓国の民主化勢力は北朝鮮の民主化のために行動しなければ。

## **第1章 反動思想文化排撃法の基本**

---

### 第1条 (反動思想文化排撃法の使命)

朝鮮民主主義人民共和国反動思想文化排撃法は、反動的な思想文化、反社会主義思想文化の流入、流布行為を阻止するための闘争を力強く展開し、われわれの思想陣地、革命陣地、階級陣地を強化することに寄与する。

### 第2条 (定義)

反動思想文化とは、人民大衆の革命的思想意識、階級意識を麻痺させ、社会を変質・墮落させる傀儡出版物をはじめとする敵対勢力の腐敗した思想文化と、われわれのものではないあらゆる不健全で異色的な思想文化である。

### 第3条 (反動思想文化排撃の基本原則)

反動思想文化を排撃することは、われわれの制度を崩壊させようとする敵の思想文化的浸透策動から社会主義思想を堅持し、社会主義制度を堅固に守るための必須的要求である。国家は、あらゆる部門、あらゆる単位で革命的な制度と秩序を厳格に確立し、反動的な出版宣伝物の流入、視聴、流布などの反社会主義的、非社会主義的行為をしっかりと制圧し、牽制する。

### 第4条 (革命的事業気風、革命的生活気風の確立の原則)

革命的事業気風、革命的生活気風を確立することは、反動的な思想文化の侵入を阻止するための根本的な方法である。

## **第4章 反動思想文化排撃秩序違反行為に対する法的責任**

---

### 第27条 (傀儡思想文化伝播罪)

傀儡の映画や録画物、編集物、図書、歌、絵、写真などを見たり聞いたり、保管した者、または傀儡の歌、絵、写真、図案などを流入、流布した者は、5年以上10年以下の労働教化刑に処す。

### 第28条 (敵対国の思想文化伝播罪)

敵対国の映画、録画物、編集物、書籍を流入させたり、流布した者は、5年以下の労働教化刑に処す。大量の敵対国の映画や録画物、編集物、書籍を流入、流布したり、多くの人に流布した場合、または集団的に視聴、閲覧するように組織したり、助長した場合は、無期労働教化刑または死刑に処す。

### 第29条（性録画物、色情、及び迷信伝播罪）

性録画物または色情及び迷信を説いた映画や録画物、編集物、図書、写真、絵画などを見たり、保管した者は、5年以上10年以下の労働教化刑に処す。性的録画物または色情及び迷信を説く映画や録画物、編集物、図書、写真、絵画のようなものを作ったり、流入、流布した場合は、無期労働教化刑に処す。

大量の性録画物または色情及び迷信を説いた映画や録画物、編集物、図書、写真、絵画のようなものを作ったり、流入、流布したり、多くの人に流布した場合、または集団的に視聴、閲覧するように組織したり、助長した場合は死刑に処す。

### 第30条（異色的な思想文化伝播罪）

社会主義思想文化とわが国の生活様式に反する他国の映画や録画物、編集物、図書、歌、絵、写真のようなものを見たり聞いたり、保管した者、または非合法的に他国の歌、絵、写真、図案、衣装のようなものを流入、流布した者は、労働鍛錬刑に処す。

罪状の重い場合には、5年以下の労働教化刑に処す。

非合法的に他の国の映画や録画物、編集物、書籍を流入、流布した場合は、5年以上10年以下の労働教化刑に処す。

大量の他の国の映画や録画物、編集物、書籍を流入、流布した場合、または多くの人に流布した場合、または集団的に視聴、閲覧するよう組織したり、助長した場合は、10年以上の労働教化刑に処す。

### 第31条（不純文化伝播罪）

個人が作った退廃的で異色的な内容が反映された録音物、編集物、写真、印刷物を見たり聞いたり、保管した者は、労働鍛錬刑に処す。退廃的で異色的な内容が反映された録音物、編集物、歌、写真、印刷物を作ったり、流布した場合は、3年以下の労働教化刑に処す。

### 第32条（傀儡文化再現罪）

傀儡式に話したり、傀儡式に文章を書いたり、傀儡唱法で歌を歌ったり、傀儡書体で印刷物を作った者は、労働鍛錬刑に処す。罪状の重い場合には、2年以下の労働教化刑に処す。

### 第33条（電子、電波設備利用秩序違反罪）

テレビ、ラジオ、コンピュータをはじめとする電子、電波設備利用秩序に違反した者は、労働鍛錬刑に処す。

# NO FENCE

vol.102 2024年 2 月



〒102-0093 千代田区平河町 1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
https://www.nofence.jp/

〈115年目の三一節〉

## 「自由と平和」が一番大切

私事で恐縮ですが、去る2月20日、茨城県石岡市の郊外にある創立10年の青丘学院つくば中学校・高等学校に招かれ、1時間位、50～60名位の生徒さん、教職員、ご父兄の前で、三一独立万歳運動について話をしました。金正出(キム・ジョンチュル)さん(1946年生)というお医者さんが建てた、とてもユニークな学校で、毎年三一節と光復節(8月15日)に弁論大会をやり、そのあと学外から人を招いて、1時間位話をしてもらった行事でした。私は文字通り1919年3月1日の独立宣言の発表とその後1年以上続いた独立万歳運動について話をしました。弁論大会のあと、1919年2月8日東京の留学生会館で発表された2・8独立宣言の朗読が、朝鮮・韓国語と日本語訳で生徒さん二人の朗読がありました。私はこの日の準備で2・8宣言が3・1宣言と少し違うところに気が付きました。日本が朝鮮の開国を強(し)い、1905年の保護条約、1907年の軍隊の解散、1910年の併合条約に至る過程が、大変な「詐欺行為」であったことが強調されていました。2月20日当日2・8宣言と3・1宣言の両方が朗読されると思っていましたが、2・8宣言だけでした。私は不思議に思い、尋ねてみました。青丘学院は日本に在りますから、東京で発表された2・8宣言を毎年三一節で朗読してきたという回答でした。私は講演の中で2・8宣言のある個所を指摘し、このくだりは日本人が聴き・読むべきところであると指摘しました。そのくだりは次の所です。

「ここにわが民族は建国以来半万年にし

여기에 우리민족은 건국 이래 반만년에

て自己を指導し援助すると約束した

우리를 지원하겠다고 약속한 일본 군벌의

日本軍閥の野心的政策の犠牲となった。

야심 찬 정책에 희생 되었다.

実に日本の(朝鮮)にたいする行為は詐欺

실로 일본의 (한국)에 대한 행위는 사기의

ぼうりよく で  
暴力から出たものにして、このような

폭력에서 나온 것으로 이 같은 사기에

さぎ おお せいこう せかい  
詐欺による大きな成功は、まことに世界

의한 큰 성공은 세계 흥망 역사상에

こうぼうしじょうとくひつ じんるい だいちじよく  
興亡史上特筆すべき人類の大恥辱と

남을 만한 인류의 큰 치욕이라 말할 수

いわねばならない。

있다.

2·8独立宣言は、日本人が毎年2月8日に読むべき宣言であることを、強調しました。私はこの後『ニムの沈黙』という詩集で有名な韓龍雲(1879~1944)という仏教徒で詩人、33名の3·1独立宣言文の署名者の一人の「朝鮮独立の書」の冒頭部分を紹介しました。3·1独立宣言文は崔南善が依頼されて原案を執筆しましたが、韓龍雲も独自に用意しました。本文は崔南善の物が採用され、最後に付された公約3章は韓龍雲の提起したものです。私は青丘学院での話の中で、韓龍雲の「朝鮮独立の書」と言われる長文の文章の冒頭の部分を紹介しました。自由と平和がいかに大事かを簡潔に説いたところです。以下に紹介します。暗唱に値する名文です。

### 朝鮮独立の書 韓 龍雲 (1879-1944)

原題「朝鮮独立に対する感想の概要」

1919年7月10日、獄中にて日本人検事総長の要請で執筆

1919年11月4日上海臨時政府「独立」新聞に掲載

#### 一. 概 論

「自由は万有の生命であり、平和は人生の幸福である。故に自由がない人は死骸と同じ、平和がない者は最苦痛の者。圧迫を被る者の周囲の空気は墳墓と化し、争奪を事とする者の境涯は地獄となるから、宇宙の理想的な最も幸福なる実在は自由と平和である。故に自由を得るためには生命を鴻毛視し、平和を保つためには犠牲を甘受する。これは人生の権利であると同時にまた義務である。」しかし自由の公準は他人の自由を侵さないことを条件としているので、侵略的自由は没平和の野蛮な自由となる。平和の精神は平等にあるので、平和は自由のよき友の謂(いい:意味)だろう。故に威圧的な平和は屈辱となるだけでなく、真の自由は必ず平和を保ち、真の平和は必ず自由を伴うだろう。

自由よ、平和よ、汝らは全人類の要求なり。」(2001.6.12 小川晴久訳)

자유는 만유의 생명 이요, 평화는 인생의 행복이다. 그러므로 자유가 없는 사람은 사해와 같고 평화가 없는 자는 다시없는 고통이다. 압박을 받는 자의 주위는 무덤과 다름없고 쟁분을 일삼는 자의 환경은 지옥 이되나니

우주의 이상적 가장 행복한 실재는 자유와 평화다. 그렇기에 자유를 얻기 위해서는 생명을 홍모처럼 가볍게 여기고 평화를 보전하기 위해서는 희생을 감내 처럼 맛보나 이는 인생의 권리인 동시에 또한 의무일지라도. 그러나 참된 자유는 남의 자유를 침해하지 않음을 한계로 삼는 것으로서 약탈적 자유는 평화를 깨뜨리는 야만적 자유가 되는 것이다. 또한 평화의 정신은 평등에 있으므로 평등은 자유의 상대가 된다. 따라서 위압적인 평화는 굴욕이 될 뿐이니 참된 자유는 반드시 평화를 동반하고, 참된 평화는 반드시 자유를 함께 해야 한다. 실로 자유와 평화는 전 인류의 요구라 할 것이다.

『韓龍雲全集 1』(新丘文化社 1973年刊) 346頁 原文は漢字混り、その韓国語訳

次の一文は、ビルマのアウンサン・スーチーさんがノーベル賞をもらった時の感想だと思えますが、身近な所から出てきました。共同通信の報道かと思えます。自由と平和の大切さが指摘されているので、ここに紹介します。

「私たちが究極的に目指すべきは、どこで暮らす人々も自由や平和を享受できる世界をつくりあげることだ。

安心して眠りに就き、幸せに目覚められる平和な世界をつくるために手を携えよう。

私がビルマの民主化運動に加わったころ、何かの賞や栄誉を受けることなど考えもしなかった。

歴史は、私たちが信じる大義に向かって最善を尽くす機会を私たちに与えた。

ノーベル賞委員会が授与を決めた時、私は自分の自由意思で選んだ道を進むことにさほど孤独でなくなった。

ノーベル賞委員会やノルウェー国民などの支援が、平和を追求するという私の信念を力づけてくれた。(共同)」

韓龍雲氏やスーチーさんの指摘を再読して、今の日本がいかに幸せか、恵まれているかに思いを致した。戦前の日本は朝鮮に対しても、中国に対しても、東南アジアに対しても、随分残酷なことをした。である調になることを、お許しいただきたい。その日本が戦後、世界人権宣言と瓜(うり)二つの現憲法に恵まれたことは、物凄い僥倖(ぎょうこう)であった。象徴天皇制が残ったので、日本は共和制でないが、しか<sup>い</sup>戦争放棄の第九条は世界遺産のような、世界でも稀(まれ)な条項である。これを今の政権は手放そうとしている。とんでもない忘恩である。韓龍雲氏やスーチーさんのいう自由と平和に恵まれている現在の日本。どれだけ感謝しても足りないくらい、日本は恵まれている。このことをシッカリ肝に銘じたい。

## 〈補足〉 2・8宣言では朝鮮と韓国の両方が使われている

朝鮮王朝は1897年(明治30年)国号を大韓帝国に改めた。2・8宣言では自国の表示を「朝鮮」と「韓国」の両方を使っている。後者の方が多い(韓国は朝鮮の2倍)。3・1独立宣言文は朝鮮で、韓国は使われていない。この点も今回編集子は知った。この点は2・8宣言の一つの特徴である。

さて、以下の余白を酷寒の強制収容所の二つの指摘で埋めよう。一つはアウシュヴィッツの体験記で有名な『夜と霧』(フランクル)のフランクルの指摘である。編集子はこの日本語訳をかつて読んだが、韓国語版を読んだ時のメモが出てきた。それによると「一番苦しかったことは寒さと飢え」、「一番願っていたことは、風呂に入ること」であったという。もう一つは1992年12月刊行の『在日韓国人政治犯を救うために』に掲載されていた李哲さん(1948年生)の「私の獄中体験、死刑囚の日々」の冒頭部「極寒の冬」である。氏は1988年、13年服役して釈放されている。

### 「 極寒の冬

昨日から少し寒くなりましたが、秋も深まって冬に入るころは矯正所の中で一番心が重たい時期です。夏が過ぎてやっとしのぎやすくなったと喜ぶのもつかの間、これから寒い冬を小さな部屋の中でじっと座って暮らさねばいけないのかと思うと気持ちが滅入ってきます。韓国の冬はととても寒く、零下十何度に下がるという日がざらです。そんな寒い日、板張りの小さな部屋に座って一日中いるのは本当に苦痛なものです。刑務所暮らしの何がきついかというとこの寒さ、この寒さが一番の苦役です。これ以上の苦役はありません。ですから私は日本に帰ってきて、家庭で暖かいものを食べて、暖かい布団の中で寝ると、いつも中にいる人たちに後ろめたさといいますか、申し訳なさというものを感じます。一日も早く彼らが釈放されて、家族の待っている暖かい家庭に帰ってほしいと思います。

私が連行されたのが75年の12月で、ソウル拘留所に入ったのが79年の1月でした。その年はまた

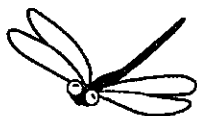
格別寒くて、部屋に押し込められた時に北風がビュービュー吹いていて凍え死にのではないかと思いました。中にせんべい布団が一枚ほっそり出ていましたけれども、布団とは名ばかりで、布団の綿が一つの隅っこに集まっていた後の三隅は布だけだったのを思い出します。

部屋の中がどれ位寒いかというと、寒い日の朝起きた時なんか、天井と壁の半分ぐらいはピカピカに凍っています。湿気も多いし、上の階から壁づたいに下りて来る便所の水とか小便もだいぶん混じってますけれども、そういう水や湿気が凍りついて部屋の半分はダイヤモンドを張りつけたような黄色、青っぽい色、ダイヤモンドがいっぱい散らばっている状況です。これは本当の話です。それで日中にだんだん日が暖かくなって氷結した氷が解け始めますと、今度は便所の汚水がいっぺんに匂いします。大変なもんです。冬の間はそうして皆じっとして過ごすのです。

(文責 小川 晴久)



# NO FENCE



vol. **103** 2024年 3月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
<https://www.nofence.jp/>

## 「우리민족끼리 (わが民族同士で)」閉鎖に思う

高島淑郎

「大韓民国は第一の敵対国」。最高人民会議における金正恩の宣言です（2024年1月15日）。韓国は同族でもなんでも赤の他人だと言ったわけで、これは歴史的な表明です。核ミサイルの照準を韓国へも向けるということを意味します。

これまでの第一敵対国は米国です。南朝鮮（韓国）に対しては、その米国の傀儡であるとし、民衆は犠牲者であって哀れな存在だと位置づけていました。でもこれからは、哀れみの対象でも、力を合わせて統一国家をつくる仲間でもない、と決めつけたわけです。だからでしょう、北の公式サイト「우리민족끼리 (わが民族同士で)」も閉鎖されました。“同胞”という概念そのものを葬り去ったのですから当然かも知れません。

「우리민족끼리」は朝鮮の対外宣伝用公式サイトでした。内容は相変わらずですが、朝鮮中央テレビのニュースやドラマ、「조선말대사전 (朝鮮語大辞典)」もアップされ、さらに「労働新聞」は過去の記事まで検索できたのです。ネットをとおして簡単に北の動向がチェックできたわけで、三日にあげず覗いていたわたしにとっては大きな痛手となりました。

そして何よりも“民族同士で”の否定は、「平和統一」や「民族大団結」を謳う朝鮮の社会主義憲法（2019年8月改定）ばかりでなく、在日本朝鮮人総聯合会の理念も、とにかく南北交流にかかわる全てを木っ端微塵に吹き飛ばしてしまいました。今後、何を目標に生きるというのでしょうか。

ところで、金正恩の宣言には決定的な欠落があります。それは“外”ばかり見て“内”を見ていないことです。戦争になって、いちばん苦しむのは一般の人びとです。そこに南も北もありません。南（外）の政府や人びとを第一の敵として脅すことは、同時に北（内）の人民も脅していることになるはずですが。

ところで、欠落した視点をわが身において考えると、敵基地攻撃能力の保有を閣議決定した日本政府だって、敵（外）だけでなく日本（内）に住む一般の人びとをも脅していることになりはしないか……。尤も、この決定を56%もの人びとが賛成しているといえます（2022年12月9日「朝日新聞」）から、政府だけの責任ではありませんね。

宣言をもう少し読むと、武力行使は韓・米・日が侵攻してきたらという前提付きであることが分かります。防衛のためだと言い切っているのです。日本の閣議決定も防衛のためではありますが、場合によっては先制攻撃も

可としているわけですから北の宣言に劣らぬ危険性をはらんでいると言えます。

金正恩の宣言や「우리민족끼리」の閉鎖を考えるにつれ、先がぜんぜん見えない不安を覚えます。そこにウクライナ戦争やガザの地獄絵も重なって、ただただ暗澹たる気持ちになるばかりです。 2024/3/18

## 「大韓民国が最大の敵対国」規定による矛盾 激化—北朝鮮の愛唱歌「女性は花だよ」との。

最近編集子(小川)は北朝鮮を1994年に脱出した李順玉さんが北の刑務所に拘留されていた時に「女性は花だよ」という歌を歌っていたという英文資料を自宅内で発見した。英文資料によれば、その歌詞は「女性は花だよ、生活の花だよ、スウィートホームの花だよ、妻よ、姉妹よ、貴女たちがいなかったら、生活は完全ではない」という。私は友人の三中堂の佐古さんに、北朝鮮の歌集はないか問うてみた。佐古さんはネットの Youtu bu で「女性は花だよ」と日本語で検索して、動画二本を送って下さった。一本は北の若い女性歌手が歌っているもの。もう一本は昨年3月8日の国際婦人デーに延辺朝鮮族自治区の記念集会で男女6人が歌っている動画であった。上記英文資料は1991年1月19日平壤新聞に紹介されていたこの歌に基づいて書かれた資料であったが、佐古さんはこの歌の作曲家が李ジョンオという北のとても有名な人物であることまで教えて下さった。この歌は1991年ごろにつくられたと推定されるが、佐古さんは当時の参考資料として、蓮池薫さんの『拉致と決断』という著作(2012年刊、新潮社)から北朝鮮の女性たちも韓流ドラマから大きな影響を受けていたというくだりの一文を送って下さった。「女性は花だよ」というこの歌は北朝鮮でヒットし、北の女性たちの愛唱歌となったが、蓮池さんは北では女性は大変な負担を負っていたことを具体的に記しておられる。韓流ドラマや北を訪問した韓国の若い女性林秀卿(イムスギョン)さんから、韓国の女性に目を見張り、大きな影響を受けてきた北朝鮮の女性たちにとって、韓国を最大の敵対国と規定した今回の金正恩の統一政策の大変更は、納得のいかない大きな矛盾となるのではないかと考える。以下紙幅の許す限り、北朝鮮の女性が受けてきた大きな負担についての蓮池さんの指摘を紹介したいと思う。

〈革命家としての義務〉 党は敵対階級と命をかけて闘う人だけでなく、社会主義建設で献身的に働く人も「革命家」と呼んでいた。…早くも1950～60年代から、職場に積極的に進出し、北でも激務とされる教育、農業、医療を含めた様々な分野で働くようになっていた。しかし、女性の幹部は非常に少なく、男性上司のもとで、ただ黙々と仕事をこなしているというイメージが強かった。外出時に車から眺めた田畑で目に付くのは、ホミという農具を手に腰をかがめて働く女性の姿ばかりで、わず

かにいる男性たちはたっていたり、あるきまわったりしていた。おそらく女性農場員に指示を出すだけの分組長や作業班長だったにちがいない。…

〈軍事面での義務〉 女性に対する徴兵制こそなかったが、すべての国民が16歳から「赤い青年近衛隊」に属して、年に一度の軍事訓練に参加する義務を負っていた。二週間の訓練所生活では自動小銃の射撃訓練や重装備での行軍などを行い、最終日には総括として実弾三発による射撃判定をする。…学業を終え、職場で働くようになって、…男性とともに「労農赤衛隊」に移行するだけで、結婚して子どもが生まれるまでは軍事訓練から逃れられない。一方、大学生の場合は、「教導隊」に六か月間入隊し、訓練だけでなく実際の国家防衛任務も遂行する。平壤の女子大生の場合は、郊外のいたるところにある高射砲部隊に配属され、有事の際に敵の軍用機に76ミリ砲弾を浴びせるべく、日々訓練を重ねるとともに、基地の管理・警備等に当たっていた。大学生は教導機関が終われば、男女ともに少尉の軍事階級が与えられる。

〈家事の重い負担〉 党は71年から推進した三大技術革命で、女性を家事の重い負担から解放することをひとつの課題として掲げていた。その真の目的は、60年代に顕著になった社会主義建設における労働力の不足を補うことにあり、加工食品や日用品の開発生産、奉仕施設の拡充をすすめることで、家事のを軽減する分、女性の社会進出を図ろうというものだった。しかし、重工業発展に偏重したせいか、家事からの解放は思うようにすすまなかった。2000年代なっても平壤市内には洗濯機や掃除機、自動炊飯ジャー、電子レンジのある家庭はほとんどなかったし、店に加工食品が豊富に並ぶこともなかった。あいかわらず靴下や下着はもちろん、シャツやズボンにいたるまで風呂場にしゃがみこんで手洗いするのが女性の日課であり、食事も朝晩二回、ひとつの石油コンロで順番に汁やおかずを作り、ご飯もいちいち火加減を見ながら炊かなければならない家がほとんどだった。育児でも日本のように紙おむつといったものが普及していないどころか慢性的な布不足のため、数少ない木綿のおしめを毎日洗ってフル回転させていたし、市販品の粉ミルクや離乳食の代りに毎日重湯を作って食べさせていると聞いた。北朝鮮では、男性が家事を手伝うという習慣は定着していなかった。妻が出産のために実家に帰っている場合などを除けば、台所に立つことも掃除をすることも男のやるべきことではないという古い観念が根強く残っていた。ほかのことは口うるさく教育する党も、夫に家事の分担を求める宣伝をするのはあまり聞いたことがなかった。

職場通いをしない家庭の主婦なら、家事の負担だけで済むのかというと、そういうことでもなかった。北朝鮮のすべての住民は30～50戸ほどの世帯からなる人民班に属しているが、その班員は班長の指示でいろいろな雑用を強いられた。毎日のアパート周辺の清掃から始まって、公衆トイレの掃除、ゴミの撤去、下水道の維持、道路の

修理にいたるまで、日本なら行政機関がおこなう作業を無報酬でやらされていたが、その中心的な担い手は家庭の主婦だった。…

汲み取り式のトイレが一般的な地方の住宅地では、し尿を集めて農村に運ぶ作業まで、人民班の仕事になっている。ほかにもぼろきれを集めて建設現場に送る作業用手袋を作ったり、クズ鉄や割れガラスなどの廃品を回収したりと、人民班の仕事にはきりが無い。…

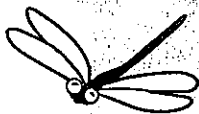
〈社会風紀上の規制〉 “素朴で女性らしく”という党のスローガンのもと、アクセサリーやイヤリングなどの装身具や体に密着する洋服、ときにはズボンの着用までが制限されていたし、スカートの丈や髪の長さ、化粧の濃さなども党の統制の対象になっていた。跨る動作がはしたないということから、平壤市内では女性の自転車乗りの禁止されていた。

〈北朝鮮の女性たちの心の中の願望——林秀卿や韓流ドラマから得

た感動〉 89年夏、平壤で開催された「第13回世界青年学生祭典」に林秀卿(イム・スギョン)という韓国の女子大生が『全国大学生代表者協議会』(全大協)の代表として参加したとき、北朝鮮の多くの女性は、彼女の自由な演説、自然な身のこなし、斬新なファッションに熱い視線を注ぎ、すっかり魅了された。…Tシャツに真っ白いマンボズボン、スニーカーといったファッションの奔放さ、宴会でセットされた金日成との会見でも物おじしない態度に、真に解放された女性の自由な姿を感じ取っていたのではないだろうか。北朝鮮の指導部としては警戒すべき要素だったはずだが、いかんせん林秀卿は祭典の成功に欠かせない存在になってしまったために、新聞もテレビも最後まで彼女を追い続けた。祭典後、平壤に残り、板門店経由の帰国許可を求めてハンガー・ストライキを行なった林秀卿は、最後に板門店を通過して韓国に帰り、その場で逮捕、連行されてしまう。この光景に北朝鮮の女性たちはみんなが泣いた。その涙には「統一の花」への同情だけではなく、憧れの対象がさっさとなくなか社会的にも家庭的にも満たされていない自分の境遇の悲しさも含まれていたような気がする。…

90年代はそうと北朝鮮の地に入ってきた韓国ドラマに、平壤の若い女性たちがはまったのも、ひとつには自由な女性、自立した女性への憧れがあった。…彼女たちに人気のあったドラマは『秋の童話』『真実』『イヴのすべて』などだった。ドラマのなかで営まれる韓国の生活やファッションの華やかさ、自由な恋愛の美しさに惹かれていた彼女たちの目は、おのずとヒロインの生き方にも向かった。…その姿に平壤の女性たちはいつか自分もこんなふうになりたいという強い願望を抱いたという。北朝鮮の女性たちは党の求めるものとは大きく違う理想像を追い始めていたのだ。(蓮池薫著 164頁)

# NO FENCE



vol. **104** 2024年5月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203

[nofenceinfo@gmail.com](mailto:nofenceinfo@gmail.com)

<https://www.nofence.jp/>

## ‘24, 4. 27 久保田るり子さんオンライン講演報告

### 「保守派も顔を背ける傲慢・不通

### 尹錫悦(ユンソンヨル)は反省するか

### 韓国総選挙で与党大敗の理由」

産経新聞客員論説委員、久保田るり子さんに、去る4月10日の韓国の総選挙の結果について、与党大敗と野党勝利の原因、尹政権の向こう3年間はどうなるか、日韓関係への影響などについて、オンラインで語っていただいた。大会副代表の宋允復氏が依頼し、当日司会も務めた。

#### 〈ここ2年間の内政についての審判〉 北朝鮮の強制収容所の廃絶を目指す

NOFENCE の立場から言うと、親北的な文在寅前政権よりは現政権の姿勢が評価できるので、今回の選挙の結果は意外であった。4月5日から一週間ソウル入りをし、与党(国民の力)108議席、野党(共に民主党)175議席、野党(韓国革新党)12議席という結果について、友人の識者たちの意見も聞いて、説明して下さった。

与党大敗の最大の原因は、尹大統領が夫人の不正行為(高級バッグのもらい受け他)に対する国会の調査権を、大統領の職権で拒否したことにあること、歴代の大統領は調査をすべて受け入れてきたのに、尹政権は大統領特権でそれを阻んだことにあり、その傲慢な態度に彼の支持基盤の保守層の良心派が顔を背けた結果であるという。尹大統領は自分の財力はほぼ使い果たし、奥さんの資産に頼っていたという。奥さんをかぼう行為に出たという。また医者不足を口実に医学部の現行の入学定員2千人を2027年度から3千人増やすという方針をとり、医者(保守層に多い)たちから反発も買っている状況も手伝ったという。尹大統領は検察官出身であり、元検察官や現検察官を内閣幹部に多数採用していることも影響し、傲慢・不通・無能の評価を

受けたと友人のジャーナリストは語ったという。大統領に就任してのこの2年間、主に外交面で成果を上げていながら、今回は内政審査に大統領の拒否権を発動するという面が中間評価の焦点となって、保守層からも見放されるという、不利な結果を招いたという。

〈向う3年間はどうなるか?〉108議席の中、8議席が野党に鞍替えしたら、現政権は弾劾されて、政権が崩れる危険性がある。現勢でも野党の賛同をえられない政策はすべて否決される。

〈徴用工保障問題の財源枯渇の恐れ〉徴用工の賠償問題で、尹政権は独自の財団を作り、補償を始めたが、将来枯渇する恐れがある。再び三菱重工業など日本に賠償金を求める可能性も出て来る。

〈韓国兵器が買われている〉ヨーロッパで韓国兵器が買われている。アメリカの兵器は高い。それに比べて韓国兵器はその3分の1、NATO 軍は韓国兵器を買っている。ポーランドは韓国から戦車1千台を買おうと契約している。

〈太永浩氏の落選の原因〉前回の選挙区は江南であった。今回は急老乙(クロウル)に変わった(宋允復氏の指摘)。ネットで調べると、対立候補に10%の差を付けられ、40%しか得票を得られなかった(小川調べ)。

〈質疑から〉当日4つ、5つの質問や意見が出された。その中から本田徹氏の質問と久保田さんの答弁を紹介する。質問は本田氏が交流している韓国の NGO は余り北朝鮮の人権問題で発言していない。その理由は何かというものであった。久保田さんの答えは、盧武鉉(ノムヒョン)政権は NGO 政権と言われた。沢山の NGO が生まれ、北朝鮮に食糧援助をした。韓国の NGO は親北が多い。革新系の NGO は金を持っている。保守系の NGO は金を持っていない。」(以上)

(編集子=小川按ずるに)尹政権の内政だけが裁かれたとは意外であった。当会の立場としては、北朝鮮の強制収容所の廃絶が肝心である。尹政権は文在寅政権よりは、北朝鮮の人権問題では評価できる立場である。尹大統領の任期はまだ3年残っている。北朝鮮の人権改善で努力をかさねれば、外交面で尹政権の評価が回復する可能性がある。NO FENCE としては韓国の与党も野党も、北朝鮮の人権改善のために力を合わせてほしいという立場である。

「お前が吸っている空気も党の物だ」

## 黄海南道の漁師一家脱北証言

当会山下誠さん紹介の「沢山の人が死んでいる」(KBS 特集)で昨年3月船でヨンピ

ヨンド（延演島）目指し脱北した若い漁師の証言に驚いた。昼間散策していたら、この時間は働いている時間だろうと尋問され、お前の立っている土地も党（労働党）のもの、お前の吸っている空気も党のものだと言われ、この国では生きて行かれないと、船による脱北を決意したという。個人の生活に対する干渉その台詞（せりふ）ここまで来ているとは、想像を絶した（編集子）。

再録

No Fence 573

2019年12月掲載

私が生まれた国

脱北帰国者 2世 金順姫

まず先に北朝鮮には私の家族全員が残されているため、実名や特定される場所、家族については発言を控えることをご了承ください。

私は北朝鮮の地方の都市で生まれました。お父さんは感染症の予防や防止をする医療機関で働いており、お母さんは家庭にいました。日本に父側の親戚がいて仕送りをしてくれたので、地域では割と裕福な生活をしていました。

私は高校を卒業して平壤の大学で勉強を始めましたが、4年生で大学を中退して脱北することになりました。脱北した理由は山ほどありますが、時間の関係上、教育に関する内容だけを報告いたします。

<朝鮮労働党が決めたことは必ず守らなければならない>

北朝鮮では朝鮮労働党が決めたことは命を失うことがあっても必ず守らなければなりません。ここで朝鮮労働党とは「金一家」のことです。党が決めたことを逆らうとひどい目に遭うということを幼い時からしっかり教わります。

いくつか例をあげます。まず、小学校、中学校、高校では資源を提出しなければなりません。北朝鮮での資源とは、紙類、布、ビニール、ガラスやガラス瓶、アルミニウム、銅、鉄などですが、毎年、強制的に一定量を提出しなければなりません。例えば、古い紙を一人当たり小学生は2kg、中学生は5kgなどと決まっています、期限内に提出しなければなりません。期限が近づくにつれ提出していない子はクラスや学校生徒の前で名前を呼ばれ、怒られ、最終的には授業にも参加させてもらえません。

新学期が始まって、紙類の目標を達成した子は教科書を多めにもらって、達成できない子はもらえません。配られる教科書も新しいものではなくボロボロになった古い教科書で先輩からの下りものです。古い教科書も十分にないため、毎年30人くらいのクラスに、例えば数学の教科書は5冊、国語は7冊などしか配られません。

生徒が提出しなければいけないのは資源だけではなくあります。毎年、ウサギの皮も1枚ずつ提出しなければなりません。軍隊の冬の帽子や手袋などに使われます。また、小さい頃から強制労働を強いられます。

中学3年から春は授業を中断して1ヶ月から1が月半ほど泊まり込みで田植えの手伝いに行きます。秋になると1ヶ月ほど授業を中断して稲刈りに行きます。食料がないためドングリを拾ったり、冬の燃料も自分たちで解決したりしなければならぬため、薪を集めに山に行くので2週間ほど授業を休みます。

その他、夏休み、冬休みがあり、授業の4割以上が「金一家」の授業であるため、数学や国語、英語などは予定より遅れます。終わらないまま学年が終了することも多々あります。

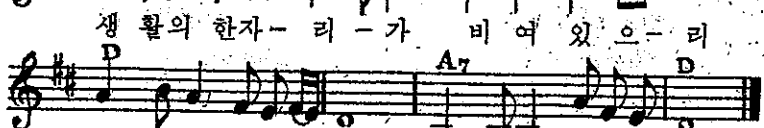
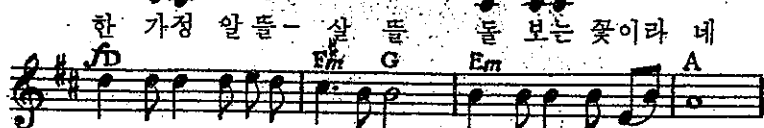
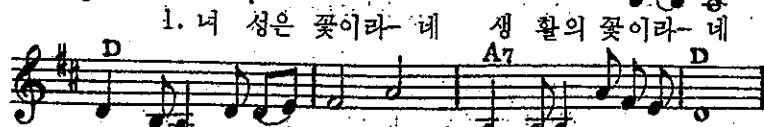
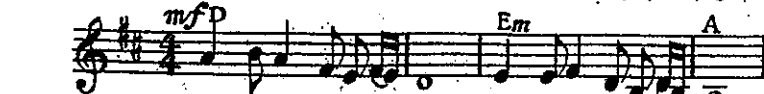
大学卒業後ですが、就職はもちろん個人の希望なんかは通りません。党が決めることに従うしかありません。しかし、平壤の出身の人たちは、人脈があり賄賂を使って希望の部署に行けたりします。地方から来た私には党の発令を待つしかありませんでした。クラスで地方出身は私しかいませんでした。

大学4年が始まった頃、みんなが行きたがらない就職先に私が行くかもしれない噂が流れてきました。分かってはいましたが、現実を突きつけられた瞬間「この国では私の未来や夢は期待できない」と改めて思い知りました。そして大学4年生の2ヶ月で中退し、脱北を決意しました。

# 녀성은 꽃이라네

2. 녀성은 꽃이라네  
 행복의 꽃이라네  
 아들딸 영웅으로  
 키우는 꽃이라네  
 정다운 안해여 누나여  
 그대들 없다면  
 행복의 한자리가  
 비어있으리  
 녀성은 꽃이라네  
 행복의 꽃이라네

작사 김송남  
 작곡 리종오



3. 녀성은 꽃이라네  
 나라의 꽃이라네  
 걸어온 위훈의 길에  
 수놓을 꽃이라네  
 정다운 안해여 누나여  
 그대들 없다면  
 나라의 한자리가  
 비어있으리  
 녀성은 꽃이라네  
 나라의 꽃이라네

作詞 · 金松男  
 作曲 · 李仲伍  
 歌手 · 李粉姬  
 粉

女性は(1)生活  
 (2)幸福  
 (3)國の花

普天堡電子樂團

上記の樂府と歌詞とメロは去る3月佐古忠八氏の編集子(小川)の求めに応じて編入して送られたもの。

三重唱の

歌詞の日本語訳もここに示せばパーセント心しゆが、スペースも限りがありますので、一番を全訳し、二番、三番は要する所(~~~~部分)だけを訳します。一番「女性は花だね、生活の花だね。一つの家庭を切り盛り、面倒を見る花だね。睡乱い夢よ、姉よ、あつたがらいつかた、生活の場所、次の空をしろよ。女性に花だね、生活の花だね。」……幸福の……息子や娘と英雄に育る……幸福の……」  
 「……國の……、揚子江を渡る船の道に刺繍する……(國の……)」。三番目の水놓다の字は繡(しり)の繡。しり字を、高島源部氏の指示。女性がいながら、生活や幸福や國の大妻子所が欠けてしまふといふ趣旨の歌心、妻や姉や、女性たちが、生活や幸福や、社會の中心とも大妻子役割を果してつこうといふ歌心。

哀悼 佐古忠八殿 上記の資料をネットで調べ送って下さったあと(直後)  
 佐古氏は逝去された。享年75。謹んで哀悼の意を献げます。 2024.5.5 小川晴久



# NO FENCE

vol. **105** 2024年6月



〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
<https://www.nofence.jp/>

当会代表

## 第3回 ムルマンチョ人賞 受賞

思いがけなく、去る5月22日、2014年に誕生した韓国の人権 NGO

“ムルマンチョ(勿忘草)”から3人目の同賞を私小川が受賞することになり、久しぶりに韓国に行ってまいりました。ここにご報告申し上げます。

3か月前の3月4日、当会副代表の宋允復氏を介して、上記の連絡がありました。その時私はムルマンチョという組織は、朝鮮戦争(1950~53年)で北朝鮮に捕虜になった韓国軍兵士の救援に当たっている組織という知識しかありませんでした。最近になって資料が出てきて分かったのですが、昨年9月この団体の一行が来日し、日本の北朝鮮の人権問題に取り組んでいるNGOの聞き取り調査を受けたことがあります。

私はこの賞をもらっていいものかわかりませんでした。第一回目の受賞者が、韓国の北韓人権市民連合で勤務しているヨハンナ・ホサニヤックさん(ポーランド人)であることを知り、彼女が受賞しているのならもらってもいいのかなと判断しました。

授賞式に用意する冊子に掲載する資料として、私がどういう経緯で北朝鮮の人権問題に取り組むことになったか、その活動で苦しかったこと、うれしかったこと、2008年にNO FENCEを立ち上げた理由、今後どういう内容の活動をしようとしているかなどを知らせてほしいという要請がありました。宋允復氏がそれを4月末までに韓国語に翻訳して韓国に送り、当日を迎えました。宋さんも私の通訳者として招待され、二人で参加しました。会場はソウルのプレスセンター20階の大会議室。当日は「ムルマンチョの日」とされ、午後1時から総会、その総会の行事の一つとして脱北者のプロのピアニストの演奏もありました(20分位)。大学生さんたちの表彰もあり、今回第3回目になる「ムルマンチョ人賞」の表彰式は2時45分頃、私の「受賞所感」(30分)その後姜哲煥氏が討論者として登壇し、20分位挨拶しました。

前日の夕方、当日の午前中にもマスコミのインタビューが入り、私が下手な韓国語で答えているのを脇で聞いていた宋さんが、本番でも韓国語で「所感」を話したらと促したので、午後3時からの「受賞所感」は30分以内で下手な韓国語でスピーチしました。ところどころ宋さんの助けを受けて、以下で「ある調」になることお許しを。

## 〈北の人権問題に取り組むことになった契機〉

1993年8月22日 JR 中野駅の駅前の焼き肉屋さんで北朝鮮に恐ろしい強制収容所があることを知ったこと。1959年12月から始まった帰国事業で、兄一家が北に渡った日本の家族、京都に在住していた朴春仙さんのお兄さん一家が肅清され、山送りされた証言を聴いてショックを受けたこと。お兄さんは北に渡って平壤放送の日本語のアナウンサーになり、毎晩その放送を聴くのが楽しみであったが、ある日突然兄の声が聞こえなくなり、総連に献金して調べてもらったら、兄は政治犯として銃殺され、家族は山送り(収容所送り)、妹さんが莫大な献金(2千万円)をして、平壤に連れ戻してもらい、会いに行ったら、美人であった奥さんは老婆となり、手に爪はなく、真っ黒になっていたという証言にショックを受けた。収容所では金属類は持たされず、土を掘るのも素手で掘らされた。焼肉屋さんでの小さな証言集会は、在日の女性作家朴寿南さんが企画したもの。その3年前の1990年から在日の幹部たちが数名取り組みを始めたが、仲たがいでまともならず、朴寿南さんが朝鮮問題に関心のある日本の若者達に取り組みせようと考え、この小さな証言集会が持たれた。この年の6月、大阪で李英和さん、金英達さんたちが RENK という NGO を作っていたが、この小集会に李英和夫妻も参加されていて、この2か月後の11月7日の200名の証言集会の実現に大いに力を貸して下さった。この中野の焼き肉屋さんは、歌手の田月仙さんのお母さん金甲仙さんのお店であった。この話は少数の日本人だけが聴いていい話ではないと考え、翌年2月20日の「北朝鮮帰国者の生命(いのち)と人権を守る会」の結成集会につながっていった。この結成集会は150名規模であったが、そのうち50名は朝鮮総連の組織動員で、この結成大会をつぶしにかかった妨害者たちであった。彼らの妨害で結成大会は大いに荒れたが、会場側が機動隊を呼んだので、それを知った妨害者たちは一目散で逃亡し、辛うじて守る会は発足した。

## 〈2年後に韓国に市民連合が生まれ、共同で『生命と人権』発行〉

活動で一番うれしかったことは何かという問いに答えて、私は2年後に韓国にできた「北韓人権市民連合」と守る会が共同で、北に存在する恐ろしい強制収容所の存在と実態を世界に知らせる英文の季刊誌『生命と人権』の刊行を挙げた。

この小冊子は毎号900部作られ(英語版が主体)、韓国から全世界に送られた。特にアメリカの議会関係者には、スザンナ・ショルテ女史を介して送られた。創刊号から8号までは、WHO(UNの世界食糧計画)に18年も勤務された金尚憲先生が英文に

作られた。立派な英文でなければならないと主張されて。守る会から2年後に作られた韓国の「北韓人権市民連合」は代表の尹玄先生、金尚憲先生、金英子女史の3人が中核であった。この3人は1973年ごろアムネスティー韓国支部を作られ、韓国の軍事独裁政権(朴正熙政権)と戦い始めた。アムネスティーは自国の問題に取組めないという原則があつて、批判され、別の人たちが支部を担うが、1996年秋から発行された『生命と人権』の季刊誌(年4回発行)は韓国の市民連合から全世界に発送されていった。初期には日本の守る会が印刷経費50万円を提供したが、この冊子は65号まで韓国の市民連合が発行を続けた。この冊子が1999年アメリカ議会の下にあるNED(National Endowment for Democracy)のガーシュマン会長の目に留まり、この歳の12月から北朝鮮人権・難民国際会議が毎年一回世界各地で開かれ、北朝鮮人権問題の国際化に小冊子と共に貢献した。私は日本の守る会と韓国の市民連合が共同の覚書を交わし出し続けた『生命と人権』の季刊誌の刊行を私たちの活動の最大の喜びと感じている。編集、印刷、発送は韓国の市民連合が主に担って下さった。韓国の市民連合の貢献は絶大である。

〈NO FENCE が誕生した理由〉 2008年4月13日「北朝鮮強制収容所をなくすアクションの会」という別名を持つNO FENCE が作られた理由は、2002年に韓国に作られたヨドック強制収容所の体験者たちが主になって作った「北韓政治犯解体運動本部」が2年後に当時の韓国政府の干渉で「北韓民主化運動本部」に改称させられたことによる。当時の韓国政府が北をあまりに刺激しすぎるといふ干渉である。六者協議が開かれるようになり、北の強制収容所問題が取り上げられないようになったことも契機になった。今年守る会が出来て30周年、NO FENCEが出来て16周年。私は二つの会に属し、後者の代表をしているが、私の関心はいつも北朝鮮の強制収容所の解体にある。これが私の一貫した北朝鮮人権改善運動の原動力である。

〈私の受賞した理由〉 私の受賞した理由は推察であるが、韓国の市民連合よりも2年早く、日本で取り組み始めたこと、2008年にNO FENCE を作り、今日を活動が続けていることが評価されたのであろう。2回目のムルマンチョ人賞の受賞者は韓国人の崔成龍さん(韓国人被拉致者家族会代表)で、横田めぐみさんの主人を見つけたひとでもあるという。韓国の市民連合よりも早くという理由であるが、前記市民連合の3人は1970年代から韓国の民主化運動に取り組んでおられた人たちである。今回ソウルで金英子女史に伺った話であるが、70年代～80年代、韓国で北朝鮮の人権問題を取り上げたひとたちには、北の体制そのものに反対する右翼とみなされる人たちがいて、右翼と同一に見なされる危険があつたという。日本でも同じような事情があつたが、韓国は文字通り、分断国家であり、非常に厳しかったようである。私はマルクス主義を自分の思想としつつあり、真のマルクス主義は強制収容所を認

めないという立場にあったので、北朝鮮の強制収容所は、全世界のマルクス主義者の責任であるという立場を貫いていた。左翼を含む韓国の民主化勢力も、北朝鮮の強制収容所解体に取り組んでほしいということ強く望みたい。

簡単ですが、以上でご報告に変えます。

【参考資料】 第一回 ムルマンチヨ人賞受賞者 ホサニヤク女史

2022年6月 月刊朝鮮マガジン記事

Daily  
월간조선  
月刊朝鮮  
뉴스룸  
뉴스룸

NewsRoom Exclusive 월간조선TV MAGAZINE

06 2022 MAGAZINE 전체기사 정치 경제 사회 국제 인물 문화 안보 북한 연재 화보 사람들

사람들

물망초인 상 제1회 수상자 요안나 호사낙

글 : 이경훈 월간조선 기자 liberty@chosun.com

사진 : 조선DB



국군포로와 북한이탈주민을 지원하는 (사)물망초가 '물망초인(인) 상' 제1회 수상자로 북한인권운동 19년 차인 요안나 호사낙(Joanna Zenona Hosaniak-48) 북한인권시민연합 부국장을 선정했다. 호사낙 부국장은 2021년 유엔 북한결의안에 국군포로 및 그 후손의 인권 침해 문제가 최초 적시되는 데 기여한 공로로 이 상을 받았다.

호사낙 부국장은 폴란드에서 태어났다. 바르샤바대에서 한국어를 공부한 뒤 한국대사관에서 4년 동안 일했다. 인권 문제에 관심을 가진 뒤 2004년 한국에 왔다.

호사낙 부국장은 "인권에 대한 요구 없이 남북이 교류만 하면 독재 정권 체제만을 강화해줄 뿐"이라며면서 "인권은 독재를 허무는 결정적 수단"이라고 말한다.

ホサニヤクさんは私の受賞式にも来て下さりました。終始笑顔で迎えて下さりました。うれしかったです。(11/11) 4止

左の記事の訳文

国軍捕虜と北朝鮮  
離脱住民を支援する  
(社)ムルマンチヨが、  
ムルマンチヨ人賞受賞者  
として、(第一回)北朝鮮  
人権運動19年のヨハン  
ナホサニヤク「北朝鮮人権  
市民運動」副局長を選定  
した。  
ホサニヤク副局長は、  
2021年 UN 北朝鮮決  
議案に国軍捕虜  
とその子孫の人権侵害  
問題が最初に提示  
されたことへの寄与が  
評価されて、この賞を  
受けた。

ヨハンナ副局長はポー  
ランドで生まれた。ワルシャワ  
大学で韓国語を学んだ  
のち、韓国大使館で  
今年勤務した。人権問  
題に関心を持つため、  
2004年に韓国に来た。

ホサニヤク副局長は、「  
人権に対する要求なしに  
南北が交流がすすむと、  
独裁政権体制が強化  
されるだけ、人権は  
独裁をなくす決定的手段」と語った。

# NO FENCE



vol. **106** 2024年9月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
<https://www.nofence.jp/>

## NO FENCE 文書総会のご報告

例年よりも尚1か月も遅れて文書で総会を行い、会員の皆様に、返信用のハガキでご意思を伺いました。7月末までにご返信をとお願いいたしましたが、8月の初旬までに回答を頂き、43名の方が総会文書をご了承くださいました。現会員数は70数名ですので、過半数の方の了承してくださいましたこと、ご報告いたします。

〈要望・意見ほか〉9名の方が要望、ご意見を書いて下さいました。

・紙面を増やし、内容を多彩に！ ・オンラインイベントを要望 ・他のNGOのイベントも紹介してほしい ・より若い世代の台頭を切に希望 ・関心を持つ人々は非常に多いので、この人々に会員になっていただき、その知恵とエネルギーをくみ上げたら、NO FENCE も一大発展するでしょう。そのために何をどうすればよいのか……。 ・北朝鮮政府は大犯罪人なのであるから、(秘密裏に——これが重要)捕まえて、国際的刑務所にぶち込み、裁判をし、処罰をする。 ・山元氏の北の暗号資産窃盗の報告記事を評価する人が数名いた。プーチンの国連の調査専門家チーム解散(ロシアが拒否権)を広く世界に知らせるべき。

### 最近の注目すべきニュース二つ

韓国地裁は9月12日 韓国在住脱北「帰国事業犠牲者」の損害賠償訴訟の要求を満額認める判決を下す！

；韓国の東亜日報などのメディアの報道によれば、韓国の中央地方裁判所は去る3月提訴の韓国在住の北朝鮮帰国事業犠牲者5人(李泰炅イテギョン<sup>\*</sup>氏を含む)の訴えを認め、要求額一人一億ウォンの支払いを北朝鮮当局に認める判決を下した。日本でも川崎栄子さんたち5人が一人一億円の損害賠償<sup>\*\*</sup>を、2018年におこし、東京地裁で差戻裁判が近く開かれる見通しであるが、ソウルでの今回の判決の内容がどう影響するか注目される。

\* 北送在日コリアン協会代表

## 国連人権高等弁務官事務所(ソウル)が去る7月16日、北朝鮮の強制労働について報告書を発表

二つ目のビッグニュースです。国連の人権高等弁務官事務所が、去る7月16日北朝鮮の強制労働という主題でA4, 80枚の報告書を発表した。2015年5月から2023年5月までに、北朝鮮を離脱し韓国に定着した脱北民183名を面談した資料に基づき報告したもので、原文は英文と朝鮮文である。北朝鮮の強制労働の種類として、拘禁施設内労働、国が強制して割り当てた職場、軍の徴収、突撃隊、作業動員、海外労働者の六つに分けて、強制労働の実態を報告している。強制収容所(政治犯収容所)内の強制労働は特に報告されていない模様であるが、証言者183名の中に強制収容所の体験者がいなかった可能性がある。第一の種類拘禁施設内労働に含まれている可能性もあるが、一読した限りでは、こういう印象を受けた。守る会の理事の長谷川由起子さんが日本語訳に当たっているが、間もなく正式な日本語訳が発表される予定である。それまでは国連のホームページから英文と朝鮮文の原文にアクセスして頂きたい。私たちNO FENCEは北の強制収容所の実態に驚いて、その廃絶のために活動しているが、今回の報告書は北朝鮮当局が命ずる強制労働が、北朝鮮社会のあらゆる場所で行使されていることを立証する者で、その意味で重要な報告書である。元外交官で韓国に亡命された太永浩さんが、北朝鮮は奴隷制社会であると指摘されているが、それを立証する報告書である。長谷川さんの日本語訳が完成した時に、本ニュースで改めて日本語訳へのアクセスを明らかにしたい。

**資料紹介** 以下の資料は今年2月中旬の日本の統一日報の記事であるが、金正恩が昨年12月韓国を世界最大の敵対国と規定して、韓国との間に交わした共同して祖国の統一を実現する文書を破棄したことをしめす記事である。参考になるので活用させていただく。最近の北朝鮮のニュースは北朝鮮の憲法のなかに、韓国を敵対国とすることを明記しつつあるようである。

# 北側が南北交流関連法を全て破棄

## 軍事対決へ暴走する金正恩

ウクライナ戦争などで米国が主導してきた対北制裁が無力化した状況を利用して、平壤側(金正恩)は、韓国に対する圧迫を強化している。尹錫悦政府が国際秩序の再編に適応、対応できないのは対照的だ。潜水艦発射戦略巡航ミサイル(火矢3-1型)発射指導(先月28日)など、戦争準備を先頭で指揮している金正恩は8日、朝鮮人民軍創建76周年を迎えた「建軍節」で、娘と一緒に国防省を訪問、軍事力で韓国を圧倒し、そして打倒することを再び強調した。核ミサイルの性能向上のための核実験も予想される。ウクライナ戦争がもたらした国際秩序激変の受益者となった金正恩を抑えるのが韓国の最重要課題となった。

### 対応に追われる韓国内の従北勢力

平壤側の報道によれば、金正恩は「韓国傀儡をわれわれの前途で最も危ない第一の敵対国家、不変の主敵に規定し、有事の際、奴らの領土を占領、平定する」のを国是として決定したのめ、やむを得ず共和国政

はわれわれの永遠の安全と、権の崩壊を図り、「吸収統一」を夢見る韓国傀儡たちとの形式対話や協力などに努めなければならなかった非現実的な性格を、主動的に

捨てた。明々白々な敵対国と規定したことに基き、いつでも壊滅させられる合法性を持って、もっとも強力な軍事力を育て、超強硬対応態勢を維持しながら自主的な独立国家、社会主義国家としての尊厳を守り、周辺環境を国益に合うようもっと徹底的に治められる」と述べた。

そして「戦争はあらかじめ広告して行わないことを思いつく。常に臨戦態勢を維持せねばならない。敵がわれわれに向かって武力を使用しようとするれば、歴史を変える勇断を下し、われわれのすべての超強な力を躊躇なく動員し決着をつける」を付け加えた。

一方、前日の7日に開かれた最高人民会議の常任委員会は、北南経済協力法、金剛山国際観光特区法などをの施行規定、北南経済協力関連合意書の廃止条件を通じた。同時に南北間へ輸出された経済関連合意書もすべて廃棄、南側と経済交流をしないという意志を明確にした。

平壤側としては住民が経済的、文化的、精神的に韓国にないという状況を克服するために、対決と戦争を強調するしかない。

金正恩は先月14日、最高人民会議の施政演説を通じて「祖国統一」大憲章記念日の撤去を命じた。「祖国統一」大憲章と

は、「祖国統一三大原則」(1972年の7・4南北共同声明)、「高麗連邦共和国案」(80年の労働党第6次党大会)、「全民族大団結10大綱領」(88年4月の最高人民会議で採択)を指す。

この記念塔は、金正日が父親の「遺訓」である「三大意旨」を称えるため建てた(2001年8月完工)。金正恩は「金日成王朝」の正統性の根源の「抗日革命闘争より」(第2の6・25)で同族滅絶を自論した。平壤側が年初から対南工作機軸を廃止するや、金大中以来の韓国内の従北勢力は、総選挙政局の中、対応に迫られている。北側の動きに「一番先に同調したの」は、ここ30年以上反国家活動をしてきた利敵団体の「汎民連(祖国統一汎民族連合)南側本部」だ。汎民連南側本部は、今週末の17日、解散総会を同時に新しい全国的反南自主運動連合体の建設決議大会を開催するといふ。

汎民連は金日成の指導で北の祖国立利統「委員会

(朝平統)と韓国の全国民族民主運動連合(全民連)が統一戦線を張るため作った組織だ。大法院は1997年、汎民連南側本部を利敵団体と判示した。金大中の遺産の「6・15

南側委員会」は先月31日、第10期2次年度の定期共同代表会議(総会)を開き、今後の展望と組織改編問題などを協議、「南北関係が敵対関係に固着化し6・15民族共同委員会の二翼を担う6・15北側委員会が解消した状況で、運動と組織の展望を冷静に議論し表明すべき時期」「現局面と運動に対する厳正な首肯を通じたこの変化を新たな転換と跳躍のきっかけにしたい」との反応だ。ただし、南側委の参加団体が約400で、組織解消と新規結成など結論を出すには数カ月かかると見られる。やはり金大中が作った

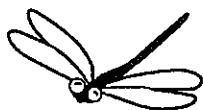
「民族和解協力汎国民協議会」(民和協)は、組織を維持するという立場だ。彼らは「北韓が統一という考えをなくしても、私たちの道を行く」として、平壤側がすでに南北基本台意書を破棄したのに、「南北基本台意書」にある通り統一を目指す特殊関係を目指すへまだ」としている。

北朝鮮で2021年に制作された住民教育用映像  
韓国KBSが入手し報道 韓国ドラマ等を視聴した  
12名の10代、20代女性の公開裁判の様子





# NO FENCE



vol. **107** 2024年10月

〒102-0093 千代田区平河町1-5-7-203  
nofenceinfo@gmail.com  
<https://www.nofence.jp/>

を最近の守る会主催の講演会報告(10月19日)

## “北朝鮮(の)統一政策放棄と朝鮮総連の動き“

講師 朴斗鎮(コリア国際研究所所長)、洪敬義(Free2Move 共同代表)

去る10月19日(土)午後2時から5時まで都内の神田区民会館で、表記の主題で講演会がありました。北朝鮮帰国者の生命と人権を守る会主催で、昨年12月、金正恩が韓国を世界最大の敵対国と言い出して、世界を驚かせましたが、今回この路線転換が何を意味するか、どういう状態が北を支持する朝鮮総連の内部で起きているかを、元総連の幹部であった二人に語ってもらう講演会でした。当日講師のお二人はスクリーンに映すレジメを用意され、洪氏はそれを活用してお話しされました。朴氏は、前日に主催者側に送ったレジメ資料を主催者側が気付くのが遅れ、スクリーンにそれを映して活用することなく、流暢に、雄弁に語られました。3日後の10月22日、主催者側は朴氏の詳しいレジメを主催者側の理事にネットで送られました。私(小川)も主催者側の理事ですのでその提供を受けました。当日ネットで活用すべき資料であり、後日主催者側の理事に公表されましたので、そのレジメ全文をここに貼付させていただきます。活用させていただきます。お許しください。洪氏のレジメからも一部貼付活用させていただきます。先ず、今講演会の全体の内容を知るには、朴斗鎮氏のレジメが詳しく、よくできていると思われまますので、全文を紹介させていただきます。

朴斗鎮氏。レジュメ 北朝鮮統一政策の放棄と朝鮮総連の動き

### 1、金正恩が行った最高人民会議での「統一政策否定」演説

北朝鮮の金正恩総書記は、昨年末の朝鮮労働党中央委員会第8期第9回総会で統一政策を否定し、関連機関の解散を指示し、憲法の改正を行えとの演説を行ったが、年が明けた今年1月15日の最高人民会議第14期第10回会議演説ではその内容を一層具体化した。

2023・12・30 朝鮮労働党第8期第9回中央委員会総会

南北関係はこれ以上同族関係同質関係ではない敵対的 2 国家関係、戦争中にある 2 交戦国関係に完全固定と演説

2024・01・15 最高人民会議第14期第10回会議での演説

- ・平和統一のための連帯機関として設けたわれわれの関連団体を全て整理したのは、どうしても経過すべき必須不可欠の工程
- ・朝鮮半島で戦争が起こる場合には、大韓民国を完全に占領、平定、収復し、共和国領域に編入させる問題を反映することも重要
- ・わが人民の政治・思想生活と精神・文化生活の領域で「三千里の錦繡江山」「8千万同胞」のように、北と南を同族にまどわす残滓的な単語を使用しない
- ・大韓民国を徹頭徹尾、第1の敵対国、不変の主敵と確固と見なすように教育を強化する
- ・憲法にある「北半部」「自主、平和統一、民族大団結」という表現が今や削除されなければならない
- ・次回の最高人民会議では、こうした内容を込めて憲法を改正すべき
- ・憲法改正と共に、「同族、同質関係としての北南朝鮮」「わが民族同士」「平和統一」などの象徴として映りかねない過去時代の残余物进行处理するための実務的対策を適時に伴わせなければならない。
- ・差し当たり、北南交流協力の象徴として存在していた京義線のわが方の区間を回復不可の水準に物理的に完全に断ち切ることをはじめ、境界地域の全ての北南連携条件を徹底的に分離させるための段階別措置を厳格に実施しなければならない。
- ・そして、首都平壤の南の関門に無様に立っている「祖国統一3大憲章記念塔」を撤去するなど、自余の対策も実行することによって、わが共和国の民族史で「統一」「和解」「同族」という概念自体を完全に除去しなければならない

などと演説。

\*北朝鮮国家で歌われていた「3千里錦刺繡江山」や様々な文面で記された「民族どうし」など、同族に関する用語の禁止、「祖国統一3大憲章記念塔」など統一を象徴する建造物の破壊、南北を遮断するために陸路破壊などを行った。

## 2、最高人民会議第14期第11回会議で憲法に明記？内容は発表されず

北朝鮮の朝鮮中央通信は10月9日、7～8日に最高人民会議第14期第11回会議が開催され、社会主義憲法の一部が修正・補完されたと報じた。しかし、その内容は、崔竜海（チェ・リョンヘ）最高人民会議常任委員長が、義務教育の12年制実施に伴い、労働

を開始する年齢と選挙権が与えられる年齢を修正する改憲が行われたと報告しただけだった。

金正恩が年初に『北半部』『自主、平和統一、民族大団結』という表現の削除や南北関係を「二つの国家」とし国境線を定める条項の追加などがあったかどうかは明らかにされなかった。

この会議に金正恩も妹の与正も参加しなかった（金正恩は国防大学を訪問）ことから見て、「統一放棄」「南北二国家」などの改正条項は今回見送ったものと思われていたが、朝鮮中央通信社は10月17日、大韓民国と連結された道路と鉄道を完全に閉鎖したことに、**「大韓民国を徹底的な敵対国家として規制した共和国憲法の要求」**などとしたことや、金正恩が第2軍団の指揮部を訪問し、再び韓国を「敵国」と指弾したことから、何らかの改正が行われたと見られる。

### 金日成路線を否定する金正恩の「統一放棄」「南北2国論」

憲法の改正が行われたと見られるが、金日成の統一路線とそれを否定する金正恩の方針との整合性については説明されないままである。

金日成の思想、路線は、民族の分断を阻止し北朝鮮主導の統一を目指すものだ。北朝鮮での社会主義建設も、北朝鮮の国力を高めるためのものであるが、統一を視野にした革命基地の強化として位置づけられていた。統一のための3大力量強化戦略では第一の力量は北朝鮮の国力とされた。

また金日成は、平和統一とともに武力統一もありうるとのスタンスを取っていたが、この場合の武力統一も南朝鮮（韓国）における北朝鮮同調勢力の準備なくしては実行できないとの立場だった。従って南朝鮮革命を前提とした平和統一路線であり、武力統一路線だった。連邦制統一案は、それを実現するための戦術的方案といえる。

それ故、金正恩のように韓国全体を「第一の敵」と規定せず、米帝とその追随勢力だけを「敵」とし、その中でも米国を「主敵」とした。

金正恩の南北統一放棄、南北2国論、韓国第一敵国論は、金日成の思想、金日成の路線とは相反するものがあるために両路線を結びつけ、国民を説得する論理を作り出すことはほとんど不可能と思われる。

それ故この路線を金日成の路線と結びつける主張なり論考は労働新聞を始めとした北朝鮮メディアのどこにも発表されていない。そして北朝鮮では、指導者の新しい路線や方針が示されれば、必ず国民の支持の声を載せたり、支持集会を開いたりするのだが、そうしたプロパガンダは、今のところ一切行われていない。それは朝鮮総連でも同じだ。

結論的に言って、今回の金正恩演説は、先代の思想と路線を踏まえたうえで打ち出された政策ではなく、体制競争に敗れた事を状況のもとで金正恩が先代を超えた指導者となるために打ち出した即興的・主観的政策だったと言える。

この<sup>あせ</sup>焦りは、ハノイでのトランプとの交渉が失敗したことから始まった。トランプと合意し、制裁解除を勝ち取って経済を復活させ、先代を超える偉大な指導者として登場しようとしたが、それに失敗し、逆に自身の権威が大きく傷ついたことと関係している。

金正恩が、「統一放棄」「2国論」「韓国敵国論」を打ち出したことで、食料配給、洗脳、恐怖政治の3本柱で成り立っていた北朝鮮の首領独裁体制は、恐怖政治による統治だけが残ることとなり、崩壊への速度を早めることとなった。

### 3、理念的混乱続く北朝鮮と朝鮮総連、 出路を韓国への挑発に求める金正恩

主体思想という北朝鮮の国家理念も統一を目指すための理念である。統一なくしては主体思想の存在意義もなくなる。

#### 1) 北朝鮮の幹部・住民の共感得られず

北朝鮮の幹部や住民は、南北を同一民族として民族の再統一を夢見て全てに耐えて建設に邁進してきた。食糧不足も統一のための備蓄が必要だからと耐えてきた。そして離散家族が再び手を取り合う日を夢見てきた。この願望を否定することは極めて困難である。

#### 2) 統一路線否定で朝鮮総連窮地に

統一運動が中心だった朝鮮総連は存亡の危機を迎えている。朝鮮総連が掲げる「同胞の権利擁護」も統一力量強化の戦術だったためその行方が危うくなっている。

- ・北朝鮮は3月に朝鮮総連に指令
- ・朝鮮総連に朝鮮学校教育での統一否定など 13項目の指針  
統一に邁進すると謳った朝鮮総連綱領第6項はそのまま
- ・平和統一協会解散、国際統一局を国際局に
- ・朝鮮新報記事から統一関連、民族どうしを意味する単語などを排除
- ・理念的混乱で朝鮮総連の活動家たちは不満をつのらせている。
- ・一部の老幹部、リタイヤーした活動家たちは「金正恩は頭がおかしくなったのでは」と語っている。
- ・対策の一環として、朝大卒業班を北朝鮮に呼び寄せ洗脳教育を施している。

#### 3) 韓国に対する挑発強化に出路求める金正恩

統一放棄で民心の離反に直面した金正恩は、「無人機侵入事件」をキッカケに韓国に対する挑発の度を高め、北朝鮮住民の関心を韓国への「敵愾心」へと向けさせている。

北朝鮮外務省は10月11日の重大談話で「今月の3日と9日、10日の深夜に平壤上空に韓国の無人機が侵入しピラを散布したとし、あらゆる攻撃手段を任意の時刻に自己活動させる態勢を整える」と警告する重大声明を出した。韓国が平壤上空に無人機を侵入させピラをばらまいた」と主張した上で「全ての攻撃力使用に向けた準備を行う」と脅迫した。その後12日には金与正も「大韓民国の無人機が再び発見された場合はその瞬間に凄惨な惨事が必ず起こるだろう」と脅迫した。さらに13日付の労働新聞も韓国に対し「刃物で刺し殺す」などと脅迫の言葉を何度も使った。北朝鮮国防省は13日午後8時から前方地域の8つの砲兵旅団を完全武装状態に転換したことを明らかにした。韓国側から北朝鮮側に無人機が飛来するか、あるいはこれに関連する動向が見つかった場合は直ちに砲撃する準備に入るとのことだ。

金与正の談話発表について韓国国防省は13日、「絶え間なく挑発を行い、最近では低級で下品なごみ風船を散布した北が反省はおろか、わが国民まで強迫しようとする盗人猛々しい行動」と批判した。「金与正は談話で『他国の主権を侵害する挑発行為』と批判したが、北はこれまで約10回、われわれの領空を侵犯したことがある」と指摘した。

また、「北は軍事偵察衛星の打ち上げ失敗を含む度重なる失敗をばん回するためごみ風船を散布し、(韓国の)民間団体の風船散布に原因があるかのように責任を転嫁している」として、「ごみ風船散布以外に突破口がない北の政権の今回の談話は韓国内部の対立をあおり、局面を転換しようとする典型的な小細工」だと非難した。そのうえで、「国際的に恥ずべきごみ風船散布からやめるべきだ」と促した。そして、金与正が報復を警告したことについて、「国民の安全に危害を加えればその日に北の政権が終末を迎えることを警告する」との声明を出した。また韓国大統領府の申源湜(シン・ウォンシク)国家安保室長は「挑発すれば北朝鮮政権は終末を迎えるだろう」と警告した。

こうした中で、金正恩は、10月16日に南北をつなぐ鉄道と道路を爆破させ、10月17日には第2軍団の指揮部を訪問して再び韓国を敵国と指弾した。

### 洪敬義氏のレジメから「13か条の御誓文」

1) 上記の統一放棄制策と関連して、今年3月に北朝鮮女子サッカーの来日時に同行した朝鮮労働党関係者が朝鮮総連幹部に伝達したと思われる指示内容をそのまま各都道府県と各団体の責任者に伝達。

- (1) わが党と共和国政府の新しい対南路線転換政策をしっかりと把握すること。
- (2) 総連活動家たちの転換方針に対する正確な認識と思想転換が最優先で切実な課題。
- (3) 各級機関、団体で<同族、同質関係としての南北朝鮮>、<私たち民族同士>、<平和統一>などの象徴的な活動を一切禁止。
- (4) 大韓民国の民主的な人事、民族教育に理解を示し、朝鮮学校を支援しようとする団体、人物との関係を完全に遮断。
- (5) 組織内の各種文書、情報紙に転換方針に反する言葉を一切使用しないこと。
- (6) 首領様、将軍様のお言葉に言及する際、同族とみなされる表現、文章の引用禁止。
- (7) 事務所、学校の各種展示物で傀儡(韓国)たちを同族と誤導する残滓的な単語、スローガン、宣伝、美術作品は全て取り替え。

- (8) 既に発行された出版物（教科書も）はそのままにしておくが、教育と学習で一切取り扱わず、再出版する場合は全面修正する。
- (9) 朝鮮学校で教員が作成するシラバス等で同族と誤導する表現は禁止。
- (10) 高2現代史3編、高1国語14課、高3国語14課、小5朝鮮地理9課の取扱禁止。
- (11) 文芸作品、歌の歌詞にある、三千里、錦繡江山、わが同胞、白頭から漢拏までなど、同族と誤導する歌詞は一切歌わないこと。
- (12) 学校の校歌もそのような歌詞があれば変更する。-朝鮮地図が描かれた旗、シャツ、商標など一切の使用禁止。
- (13) 過去に出版された朝鮮地図の使用禁止

## 講演を聴いて

〈路線の変更の理由〉朴斗鎮氏は、祖父金日成、父金正日の南北統一政策の放棄・変更は説明が出来ず、金正恩は完全に墓穴を掘ったと強調された。総連の活動家たちは祖国の統一、北を根拠地にした統一のため、生涯を費やして戦ってきた。南北が同族であることの否定は自らの生涯を否定されること意味する。この変更は2019年のハノイでのトランプとの会談の失敗に由来すると指摘された。洪敬義氏は総連に20余年も勤務し(主に生活局に)、2004年に総連の改革を始めたので除名された経歴を持つ。北の中で自由を求める空気が高まってきたため、それを断ち切るために、韓国との関係を断ち切る拳に出たと指摘された。韓国と付き合っても、韓国との和解、交流は得るものよりは、失うものの方が多いと判断したのだろうという指摘も、説得力を感じた。同一民族でありながら、その否定、2国化は異常である。北朝鮮当局は自国民に世界を知らせないできた。そこに闇市場で韓国の動画が売られ、韓流ブームが生まれた。太永浩(テヨンホ)氏が2000年以後生まれたミレニアム世代に変化が起きていることを知らせてくれたが、それを比較概念が北朝鮮国内で機能しだしていると説明されているという。比較概念の出現に注目しよう(文責小川晴久)。